

令和 7 年 3 月 3 日
足立区立東加平小学校

足立区立東加平小学校
校長 田中 岳晴様

足立区立東加平小学校
開かれた学校づくり協議会

令和 6 年度 学校関係者評価書

1 自己評価全般について

【学力向上】

区学力調査の結果は、国語の目標値通過率が 92.9% (2.2%減)、算数の目標値通過率が 90.8% (5.4%減)、2教科では 91.9% (3.8%減) で目標の 85%は超えることができた。昨年度より減少傾向となる結果ではあったが国語の「書くこと」の正答率については全国値を 100とした場合 120から130へと向上する結果となった。今後も学力向上を図るための取組（授業改善、パワーアップタイム、習熟度別指導、寺子屋タイム等）を通して、一人でも多くの児童が目標値を上回れるようにしたい。児童の学習に対する意欲と学力の向上に向けた粘り強い取組を今後も継続して行ってほしい。

【豊かな心】

「自分を好き」という児童が 71.7% (6.3%増)、「自分にはよいところがある」という児童が 87.1% (4.2%増) だった。これらの数値から、昨年度よりも自己肯定感をもてる児童が増えたことが分かる。だが、「自分を好き」と思えない児童が一定数いることも事実である。また「学校は楽しい」という児童が 92.7% (0.1%減) いたことから、児童の自己肯定感を向上させるために学校が果たすべき役割が大きいことを感じる。同時に、学校だけでなく各家庭においても児童の頑張りを認め励ますことが必要だと感じている。学校と家庭が連携して、児童の成長を支え自己肯定感を感じられる児童の育成に努めて行ってほしい。

2 学校が考える「課題」・「保護者・地域への期待」について

課題

開かれた学校づくり協議会主催の土曜事業活動「わくわくニューウェーブ」が教員主体の運営となってしまっていた。開かれた学校づくり協議会の方々と連携した活動とするため地域人材の把握等を学校と開かれた学校づくり協議会と共同で行いたい。

保護者・地域への期待

登下校の安全対策については、地域の力として、保護者や地域住人の方々の協力で児童の安全を引き続き見守っていただきたい。東加平サポーターズの方々のご助言を生かし横断旗の設置が実現し通学路の横断歩道の見直しにより新たな横断歩道を設置するなど児童の安全な登下校の為の改善が進んだ。

3 その他

東加平小学校が培ってきた、これまでの伝統を大切にしながらも、新たな価値観によって変革してきた、学校教育の在り方を発展させる時期であると考えている。これまで得た知見を元に、子供たちの成長のためにできることを模索しながら改革に取り組んでいきたい。先生方の頑張りに感謝すると共に、地域・保護者のサポートも最大限していきたいと思う。